



# 館高OBパワー集結!

## 新 同窓会 総会・親睦会

十一月十三日にスタート

三百人同窓会まであと一歩



—— 校庭より現在の校舎を望む ——

## 今年も開催

## 高校生弁論大会

伝統誇る全国高校生弁論大会、今年も十月十七日に、七都道県から十七名の弁士が集い、館林市三の丸芸術ホールで開催された。高校生弁士たちは環境、教育、ボランティア、人権問題などについて熱弁を振るっていた。

この大会は昭和二十七年、館高の木造の講堂で産声をあげたもの。初めは「近県弁論大会」、「全関東弁論大会」として現在の「全国弁論大会」と拉ガリをみせ、なんと8回めという気の遠くなるような開催を継続している。現在は全国に高校生弁論大会は五つしかなく、公立高校唯一の開催校となっている。

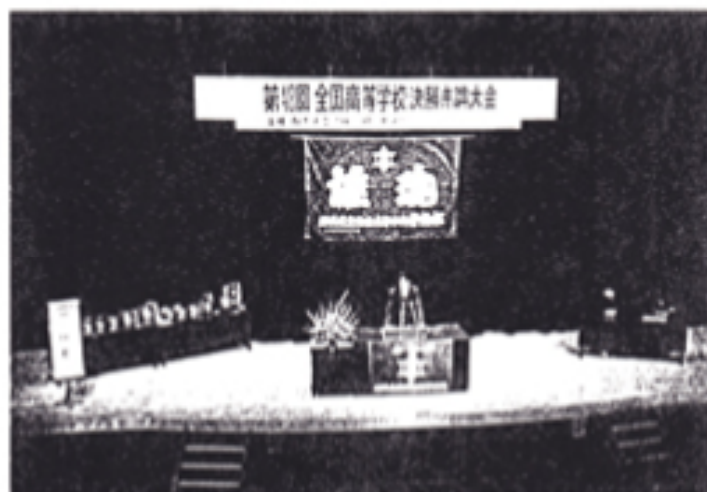
弁論部OB会「弁松会」(岩瀬弥市会長(25年卒))は長年この大会を物心両面から支えている。当日もかけつけたOBたちが応援。大会終了後懇親会を開き顧問教師等を激励していた。

会員のための同窓会にを合言葉に、生まれ変わる館高同窓会では、新たに委嘱された各学年三名の総会幹事さんが人集めに奔走西走している。現時点で七割の幹事さんから参加券が回収され、参加者が二百二十人を超えており順調にさばっている。残り三割の幹事さんの参加券を回収すると、目標の三百人まであと一歩と予想できる。

「行ったら楽しく来年も行きたい同窓会に」をめざして会の内容も一変。乾杯までが三十分の総会。親睦会に充分の時間をとって、同級生は同じ丸テーブルで昔話に花が咲くよう配慮。いや、天下国家を論じるも。

なお、総会・親睦会は五十二才総会幹事の橋本清、阿部員可、神田静一さんらに運営の一切をお願いしており、来年以降も五十二才幹事に総会の取り仕切りをお願いすることとしている。

東京同窓会の皆さん、ときにご希望の方は事務局へ。



第40回 全国高等学校弁論大会  
主催 群馬県立館林高校・弁松会





# 母校で一日講師

OB十二名の協力

館林高校では、さる七月中旬、進路指導の一環として将来の職業研究のため「職業別進路講演会」を開催した。

一、二年生全員が二つの職業について講師の話を聞いて研究し、研究成果はレポートするというもの。講師は十二名全員が本校卒業の各職種の第一線で活躍しているOBたち。各講師は二こまを担当し各職種の仕事内容から面白さや大変さ、そして進むにはなと後輩に熱っぽく語りかけていた。生徒たちも身近に感じる先輩の親身な話しに目を輝かせていた。今年初めて実施したもののだが、これからの時代生徒にとって大切なもので来年も実施することのこと。

講演の協力戴いた方(敬称略)

鈴木敏男(25年卒) 森沢光昭(31年卒)  
野本直彦(25年卒) 木田勝利(26年卒)  
小宮雄雄(29年卒) 金子史比古(40年卒)  
野村仙一(42年卒) 田口英雄(43年卒)  
鈴木正明(45年卒) 神田俊道(45年卒)  
新井孝史(47年卒) 正田 茂(47年卒)



# 館高美術部OB展

校内展 — 開催

若き日にタイムスリップと銘打ち、29年と28年卒の十人の美術部OB達は、市内展示ののち、学校の要請に応じ十月十八日から二十二日の間、作品24点の校内展示に協力、美術部の生徒たちが先輩の作品の飾りつけをおこなった。かつて美術部で開花した感性がいよいよ磨かれた作品の数々は、生徒たちの目を楽しませていた。

出品の協力戴いた方(敬称略)

三瓶昭成(29年卒) 坂本純一(29年卒)  
藤野経雄(36年卒) 毛塚和男(44年卒)  
福田良男(45年卒) 田谷国雄(47年卒)  
永井清司(47年卒) 栗田雄作(47年卒)  
小林秀光(47年卒) 萩原 隆(47年卒)

# 部活OB会活動情報

卓球部OB会

生徒たちを激励

館高卓球部OB会(亀井仲治会長(36年卒))の十二名は八月中旬本校を訪れ、現役生と試合をしたり、技術指導をしたりして生徒たちを励ましていた。これは恒例のものだが、卓球部OB会は五月に総会、ゴルフ大会も年二回やっているとのこと。

サッカー部OB会

新顧問と激励

毎年一月二日に蹴初め式を現役生とやり、そののち懇親会をやっているサッカー部OB会(同野上会長(32年卒))は、九月に元プロ選手の笠原憲太先生の新顧問就任の歓迎懇親会を飯島徳治先生も招いてOB二十数人で行った。館高サッカーの再興を夢見てか、またOBの多くは、今も少年サッカーの指導者として活躍している。

事務局より

同窓会会報第2号は来年9月1日発行となります。

◎会報送付希望の方は年会費千円を振り込んで下さい。(名簿会社の振込用紙で)

◎次号は創刊号よりも内容を充実したいと思えます。中・高校時代の写真や刊行物がありませんたらお貸しく下さい。また学年同窓会、クラス会、部活動OB会等の活動情報をお送り戴ければ幸いです。

編集後記

東京同窓会総会を記念して会報創刊号編集後の同窓生活の記事を号外として発行しました。第2号に重複掲載もあり得ますが了承ください。同窓生の皆様の益々のご活躍を祈念申し上げます。

